

# 国際社会学部—中央ヨーロッパ地域

## ヨーロッパの心臓部

中央ヨーロッパとは、ドイツ・オーストリアに、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーからなるヴィシェグラード諸国を加えた地域を中心としています。歴史的には、神聖ローマ帝国や、ウクライナのステップまで広がるポーランド王国、バルト海沿岸地域に興ったプロイセン王国、オスマン帝国とつながるハンガリー王国の領域に広がる地域となるでしょう。この世界は、いくつかの言語文化や宗派が混交し、異質な文化の層がいくえにも重なり合いながら、ひとつの全体をなしており、その多様性が中央ヨーロッパをつくりあげています。現在のヨーロッパは環境問題、難民問題の最前線にあり、また資本主義経済を社会的に制御する試みも繰り返されています。他方、排外主義の危険も大きく、国家を越えたヨーロッパ統合も道半ばです。そのようななかでも、ヨーロッパのダイナミックな変化をもっとも必要とし、かつ、その原動力になっているのが、中央ヨーロッパです。

本学では、主にドイツ、ポーランド、チェコに関わる言語と文化、歴史と現在をこの地域の広がりの中で学ぶことができます。中央ヨーロッパは、きわめて多様な地域と奥深い歴史を擁し、多文化と多言語が交錯する共存と対立の場として、グローバル化した現代の世界を先取りする歴史的経験を積んできました。中央ヨーロッパ地域の諸問題を学ぶことは、現代世界の危急の問題を的確に把握し、解決していくために必要な豊かな知識と感性を培ってくれるでしょう。



「中央ヨーロッパは、ヨーロッパの中央にある地域である。西ヨーロッパ、南ヨーロッパ、東ヨーロッパの一部と見なされる、隣接しあう諸領域を含む。共通の歴史、社会、文化的な一体性（共属意識）を持つ、伝統的にカトリックとプロテスタントの信仰を持つ諸領域のパッチワーク（寄木細工）。カトリックとプロテスタントの間で戦われた三十年戦争が、中央ヨーロッパの歴史において、重要な形成期にあたる。」



ドイツ連邦共和国



オーストリア共和国



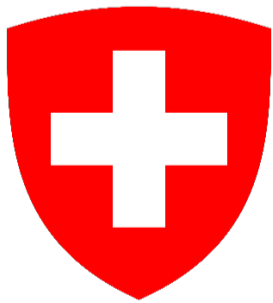
ポーランド共和国



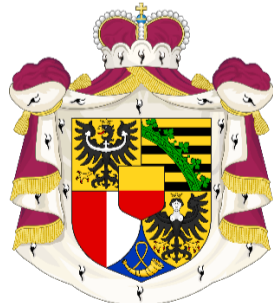
チェコ共和国



スロバキア共和国



スイス連邦



リヒテンシュタイン公国



スロベニア共和国



ハンガリー



**Czech Republic**  
Petr Fiala  
Prime Minister



**Hungary**  
Viktor Orbán  
Prime Minister



**Poland**  
Mateusz Morawiecki  
Prime Minister



**Slovakia**  
Ľudovít Ódor  
Prime Minister

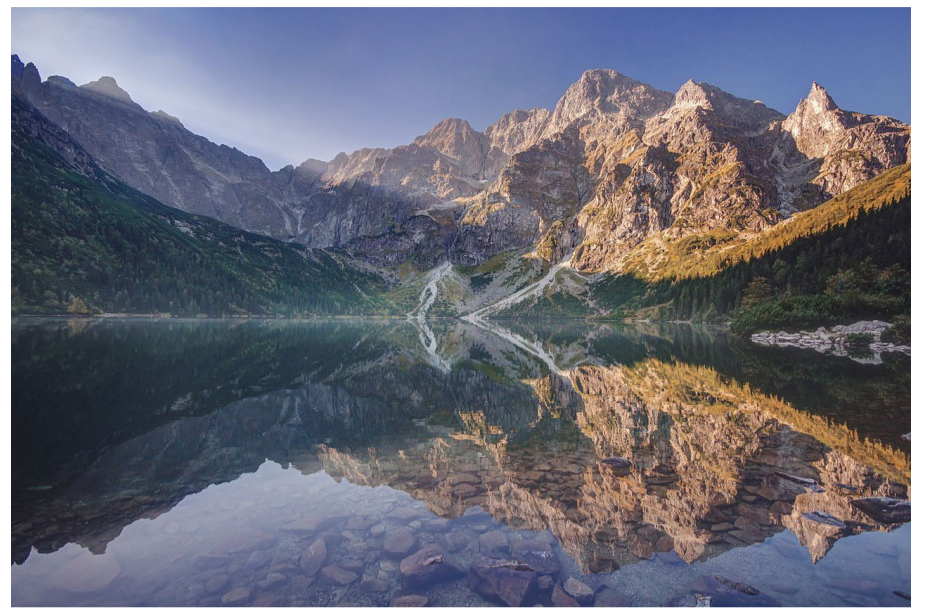
ヴィシェグラード・グループ  
中央ヨーロッパの4か国による地域協力機構  
(1991年2月設立)：チェコスロバキア（後  
にチェコ、スロヴァキアの2か国）、ハンガ  
リー、ポーランドの3か国が、ハンガリーの  
ヴィシェグラードで設立。

## 中央ヨーロッパの自然と地理



ヴルタヴァ／モルダウ川（プラハ上空）  
ボヘミア盆地の水を集めてプラハを通り、ラベ川（エルベ川）と合流、エルツ山脈・ズデーテン山脈を抜けてドレスデン、マグデブルク、ハンブルクなどのドイツ諸都市を潤して北海に流れ出る。

<https://en.wikipedia.org/wiki/Vltava>



モルスキエ・オコ（Morskie oko「海の瞳」）  
タトラ山脈にある最大の湖。ポーランドの小ポーランド地方に所在。

### 地理（自然景観）

自然境界として見た場合、中央ヨーロッパは、北はバルト海以北の北ヨーロッパ（スカンディナヴィア世界）と、南はアルプス、アペニン山脈、バルカン半島を横切る、ソチャ川ークルカ川ーサヴァ川ードナウ川線によって区切られる。これに対して、西ヨーロッパと東ヨーロッパとを分断する地理的境界ははっきりしない。このことから、歴史的に人々の移動は、南北よりも東西に活発であった（ただし、南北に走るライン川は例外）。南部に広がるパンノニア平原には、オーストリア、ハンガリー、ルーマニア、セルビア、スロヴァキア、スロヴェニアが含まれる。



ボーデン湖  
ドイツ、オーストリア、スイスの国境に位置する湖。  
アルプス地方ではレマン湖に次いで二番目の広さで、面積は約 536 km<sup>2</sup>。



アルプス山脈（スヴェイトラ） オーストリア、スロベニア、イタリア、ドイツ、リヒテンシュタイン、スイス、フランスにまたがる。峠道を通じて、地中海世界と北ヨーロッパを連結する重要な役割を果たしてきた。



ライン川大蛇行（ボツパルト） ドナウ川とともにヨーロッパの歴史を作ってきた国際河川。ドイツ・ワインの一大産地としても知られる。

# 人と文化

## 文化の魅力ー文学・音楽・建築・映像



- (画家) アール・ヌーヴォーの画家アルフォンス・ミュシャ (ムハ)
- (文学) 『変身』『審判』の作家フランツ・カフカ
- (刺繍) ポーランドの刺繍
- (絵画) アルチンボルト
- (文学) 文豪ゲーテ
- (音楽) 作曲家ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
- (芸術) バウハウス学校 (ヴァイマール) とヴァルター・グロピウス
- (映画) 映画監督アンジェイ・ワイダの作品「灰とダイヤモンド」(1958年)
- (漫画・アニメ) もぐらと楽しい仲間たちクルテク

ドイツ語 Deutsch



ポーランド語 Polski



チェコ語 Čeština



## 魅力あふれる都市たち



### 都市の魅力

### プラハ Praha

チェコの守護聖人  
聖ヴァーツラフの銅像  
(ヴァーツラフ広場)



ルクセンブルク家の神聖ローマ皇帝カール4世／  
チェコ王カレル1世の町。

ヴルタヴァ／モルダウ河畔の集落として言及され、9世紀後半に現王城区フラツチャニ Hradčany にプラハ城が築かれ、10世紀には旧市街の南端にヴィシェフラド城 (Vyšehrad: 第二の王城) が建造。フラツチャニ地区に聖ヴィート教会が建設され、ボヘミアの守護聖人ヴァーツラフ1世が埋葬される。フラツチャニに王城が統合された結果、ヴィシェフラド地区は手工業・商業地区へ転じる。

カレル1世は1344年 聖ヴィート教会を改築、シュヴェービッシュ・グミュントのドイツ人石工・建築家ペーター・パーラー (Peter Parler) がゴシック様式で建造を担当した。そのほか、カレル橋 (プラハ橋) の石橋への架替え (1357-1402年) を行ない、聖ヴィート、ヴァーツラフ、オタカール、カール4世の石像を設置した。

また、プラハ南西30キロにカールシュタイン (カルルシュテイン) 城を建造し、国王宝物庫・離宮とする。

同じ頃 (1365年)、ウィーンではシュテファン大聖堂が、ハプスブルク家のオーストリア大公ルードルフ4世により建造される。

### 「東方の三博士」の遺骨が眠る大聖堂の町

ケルンは、世界遺産でもある「大聖堂の町」。

堂内には、新約聖書の福音書で、星に導かれて生まれたばかりのキリストのもとを訪れる「東方の三博士」の聖遺物 (遺骨) が、黄金の棺に納められている。

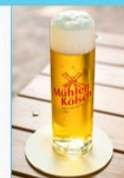
ドイツでは、ベルリン、ハンブルク、ミュンヘンに次いで4番目に大きな都市。市の中心を流れるのは、ライン川である。ライン川を眺めながら、この町名産のケルシュ・ビールを飲むのが、市民の楽しみの一つ。

ケルンにはローマ時代の遺跡や城壁、中世の1000年の歴史の中で形成されてきた街並みがあり、1945年の空爆の痕跡も残している。まさに、ドイツの歴史が積層する町だ。

ドイツの町の多くは中世都市が起源。いま見ることのできる街の個性は、中世に築き上げられたもの。市民は皆、その街並みをこよなく愛している。



From top to bottom, left to right:  
Great St. Martin Church, Cologne Cathedral,  
Shrine of the Three Kings, St. Gereon's  
Basilica, Flora Botanical Garden, Hohenzollern  
Bridge



### ケルン Köln

ケルン大聖堂  
4世紀に司教座が設置。現在の大聖堂は1248年に着工。  
東方三博士の聖遺物を安置する巡礼地。

↓1945年のケルン。米軍による空爆により廃墟と化す。



### Kraków



Left to right: St. Mary's Basilica・Wawel  
Cathedral・Saints Peter and Paul Church・  
Renaissance courtyard within Wawel Castle・  
Floriańska Street・Cloth Hall

### クラクフ Kraków



マウオポルスカ南部の木造聖堂群 (世界遺産)  
Kościół św. Michała Archanioła w Binarowej



クラクフ (Kraków) はポーランド南部、マウオポルスカ県の県都。ポーランドで最も歴史ある都市の一つで、17世紀初頭にワルシャワに遷都するまでは、クラクフがポーランド王国の首都。ヴィスワ川の上流に位置し、市街地はヴァヴェル城を中心として川の両岸に広がっている。

14世紀のポーランド王カジミエシュ3世 (Kazimierz III Wielki, 1310 - 1370年) の時代に、ヤギェウォ大学 (クラクフ大学、天文学者コペルニクスが通ったポーランド最古の大学) が創設され、町の中心広場にある織物取引所、聖マリア大聖堂が建てられた。

ポーランド南東部、マウオポルスカ地方には築年数百年を超える木造の正教教会やカトリック教会が点在している。建築技術の素晴らしさと内装の鮮やかな多彩色画が評価され、6つの教会が世界遺産に登録されている。

(ポーランド政府観光局 HP より)

## 「千年」の歴史

### 歴史の積層と経験値



現代の中欧

戦後の中欧  
冷戦・東西ドイツ

ナチズム

ビスマルク・第二帝政

神聖ローマ帝国  
ハプスブルク帝国  
三十年戦争  
宗教改革  
ルクセンブルク朝  
(カール4世=カレル1世)  
シュタウファー朝  
オットー朝/ポーランド王国  
(カール大帝)



現代の中欧を支えている政治・社会・文化の基盤は、その歴史にある。現代史だけを見ても、中央ヨーロッパ地域がいかに激動の歴史を経験してきたかがわかります。ナチズムなど、人類史的なレベルで見て、稀有な歴史的経験を積み重ねてきたのが中央ヨーロッパの歴史と言えます。

それだけではなく、中央ヨーロッパの地域の形成にとっても、ヨーロッパ全体の形成にとっても貴重な経験として、1000年の歴史を持つ、神聖ローマ帝国の経験、中世末期から近世、近代にいたる歴史のなかで最も存在感を放ち続けたハプスブルク家とハプスブルク君主国の経験、未曾有の宗教戦争としての三十年戦争、そのきっかけともなり、人間の認識の転換点でもあった宗教改革。

中央ヨーロッパ地域の形成という点

では、その起源は神聖ローマ帝国の成立期にまでさかのぼります。とくに重要であったのが、プラハを首都とするルクセンブルク朝の経験です。帝国の首都が大きく東へ移動したこと、西のルクセンブルク家領と東のチェコ王国やハンガリー王国とを連結させたこと、同君連合としてドイツ、チェコ、ポーランドが連結されたこと、それらが神聖ローマ帝国と結びつくことで、全ヨーロッパ的な広がりを持ちえたこと。こうした歴史上の経験値が、中央ヨーロッパという地域単位を形作ってきました。

## ナチスとその時代



1927年のニュルンベルクでのナチ党大会

検証  
ナチスは「良いこと」もしたのか？

小野寺拓也  
田野 大輔



## 戦争の惨禍と復興



1945年のケルン。米軍の空爆により廃墟と化す。

この廃墟から人々がいかに復興を遂げたか、その道筋は戦後日本の歩みと重なる。

画面左奥のケルン大聖堂の無傷の姿が、かえって戦争の悲惨さを物語る。

スウェーデンの映画監督ロイ・アンダーソンの作品『ホモ・サピエンスの涙』(2019、ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞)では、この写真の上空を飛ぶカップルが印象的だ。



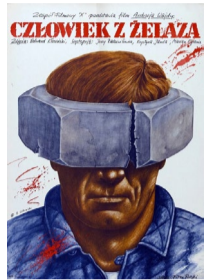
## 現代社会の諸問題



民衆の前で演説するレフ・ワレサ（ヴァウエンサ）

## 連帯„Solidarność” —ポーランドの民主化 1980-1987

1980年に起きたグダニスク造船所でのストライキに始まるポーランドの民主化運動。ポーランドを代表する映画監督アンジェイ・ワイダ(1926-2016)が、『鉄の男』(1981年、カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞)で見事に描いたことでも知られる。



## ベルリンの壁 1961~1989年

ベルリンの壁の建設（Mauerbau）は、ドイツ分断の象徴にして、東西冷戦の象徴。

その破壊（Mauerfall）は、東ドイツという社会主義統一党体制の終焉、東西ドイツ統一、冷戦終結の象徴。

壁の破片（1976年に行われた改造による「第四世代」の壁）は、鉄筋コンクリートの断片にすぎないのだが、主に売買取引を通じて世界中へ拡散した。

現在では、壁の95%以上が破壊・撤去され、数百の壁区画（ベルリン各地に総延長1.5キロ）が存在するだけとなっている。



## 地域所属の専任教員（国際社会学部）

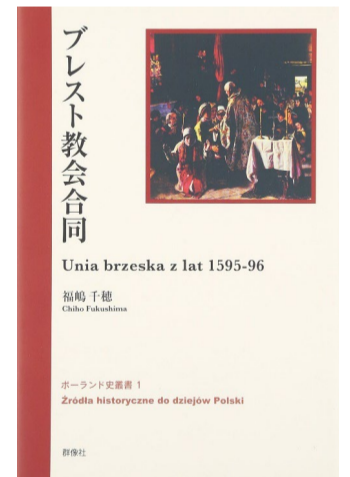
篠原 琢（しのはら たく）  
副学長  
中央ヨーロッパ地域（チェコ語）担当  
地域社会研究コース所属

専門は、中央ヨーロッパ近・現代史  
(18-20世紀)



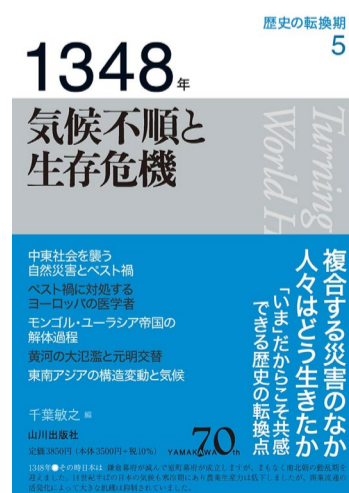
福嶋千穂（ふくしま ちほ）  
中央ヨーロッパ地域（ポーランド語）担当  
地域社会研究コース所属

専門は、近世ポーランド・リトアニア史、  
前近代のウクライナの歴史



千葉敏之（ちば としゆき）  
国際社会学部長  
中央ヨーロッパ地域（ドイツ語）担当  
地域社会研究コース所属

専門は、ヨーロッパ中世史  
キリスト教史、歴史資料体学



小野寺拓也（おのでら たくや）  
中央ヨーロッパ地域（ドイツ語）担当  
現代世界論コース所属

専門は、ドイツ現代史、ナチズム論、  
日常史、感情史、男性史

検証  
ナチスは「良いこと」もしたのか？

巻頭グラフレット No.1080

小野寺拓也  
田野 大輔

